

開講年次・時期	2年通年	授業回数	15回	時間数	30時間	選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	----	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK330	科目名	保育実習指導Ⅲ	担当者名	櫻本和也 他専任教員
授業の概要	保育者として施設実習の意義と目的について総合的に学び、実習の実施と振り返りを通して保育実践に対する課題を明確にする。加えて専門知識の習得や保育実践の向上・改善についての学びを深めることで、保育者としてのアイデンティティ形成を促進し、保育に従事する者としての基礎を築く。				
科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童家庭福祉および社会的擁護に対する理解を基に、児童福祉施設等の役割や機能について説明することができる。 2. 保育士の専門性と職業倫理を理解し、保護者支援や家庭支援のための知識・技術・判断力を養った上で実践することができる。 3. 保育の観察・記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実習事後指導による総括と自己評価を行い、保育に対する成果や課題を明確に捉えることができる。 				
DPの観点	①聴く力(20), ⑥専門知識・技能(30), ⑨主体性(50)				
授業時間外学修(予習・復習)	予習:実習教材の構想や指導案作成等の提出課題の他、発表の準備を事前に整える(毎回、2時間程度)。復習:返却された日誌や実習評価の内容を振り返りながら現状の成果と課題を確認する(毎回、2時間程度)。				
フィードバックの方法	自己評価票の記入をはじめ実習日誌を基にした個別の振り返りと、グループワークなどでの共同の振り返りを行う。				
単位認定の要件	講義内の課題やグループワーク・ディスカッションに協働し、実習直前指導を必ず受講した上で、学期末の試験について定められた基準を満たすこと。また毎回授業に出席し、欠席の場合はその授業内容を補うことを求める。				
評価の方法・割合(%)	授業内の課題(30%), 反省会等の発表(40%), レポート・期末試験(30%)で総合的に評価する。				
履修上の注意事項	保育士資格取得に係る必修科目のため、欠席をした場合は正当な理由がある場合にのみ補講等を行う。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			保育実習ⅠAの総括 ガイダンス(授業計画及び評価の観点について)	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
2			保育実習ⅠA評価のフィードバック 実習で学んだ事理解と評価	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
3			保育実習ⅠBの意義と目的についての再確認 実習施設の役割と機能の理解	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
4			実習日誌の書き方と実践 活動の流れの記述, 指導計画・指導案の作成について	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
5			保育実技講習	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
6			外部講師による講話 施設の機能と役割, 施設保育士に求められること	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
7			保育実習ⅠB直前指導 日誌の配布・各項の記述内容・評価の観点	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
8			実習反省会(施設実習)	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
9			保育実習Ⅲ直前指導 実習課題の明確化について	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
10			実習反省会(保育園)	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
11			各実習における評価のフィードバックと省察	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
12			1・2年生合同情報交換会(保育実習)	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
13			1・2年生合同情報交換会(施設実習)	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
14			保育実習指導Ⅲのまとめ課題と全体の振り返り	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
15			就職に向けてOB/OGを迎えての講話 (保育園・幼稚園・施設)	①, ⑥, ⑨	ミニッツペーパー
期末試験			期末試験	⑥	答案回収

使用テキスト	実習指導ガイドブック及び授業内で資料・レジュメを配布する。
参考文献 参考URL	保育所保育指針(厚生労働省)など適宜紹介する。
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--